

## 化学物質の毒性予測システム（QSAR 等）の活用実態に関する アンケートのご協力のお願い

担当者 御中

経済産業省製造産業局  
化学物質管理課化学物質リスク評価室

平素より化学物質管理政策にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

経済産業省では、化学物質の毒性等の活性を予測するツールとして HESS システム<sup>1</sup>（構造活性相関手法による有害性評価手法開発（平成 19 年度～平成 23 年度））や AI-SHIPS システム<sup>2</sup>（省エネ型電子デバイス材料の評価技術の開発事業（機能性材料の社会実装を支える高速・高効率な安全性評価技術の開発・毒性関連ビッグデータを用いた人工知能による次世代型安全性予測手法の開発）（平成 29 年度～））の開発を進めるとともに、平成 30 年度化学物質安全対策（欧米等の化学物質規制における毒性発現予測システム等の活用実態に関する調査）において、国内外における QSAR 等の活用実態について調査を行い、我が国における QSAR 等の活用方法について検討を行っております。

当該調査において QSAR 等の活用実態を把握することを目的として、主に化学物質の製造、海外の化学物質管理法規制へ申請・登録を行っている事業者等に対してアンケート調査を行うこととなりました。

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨にご理解頂き、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

なおアンケートは、経済産業省からの委託を受け、みずほ情報総研株式会社が実施致します。

敬具

### 【調査委託先及び問い合わせ先】

化学物質の毒性予測システム（QSAR 等）の活用実態に関するアンケート調査事務局  
みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第 1 部 環境リスクチーム  
担当：木根、望月、後藤、井上  
電話：03-5281-5491（受付時間 10 時～17 時 ※土日祝祭日を除く）  
メールアドレス：qsar2019@mizuho-ir.co.jp

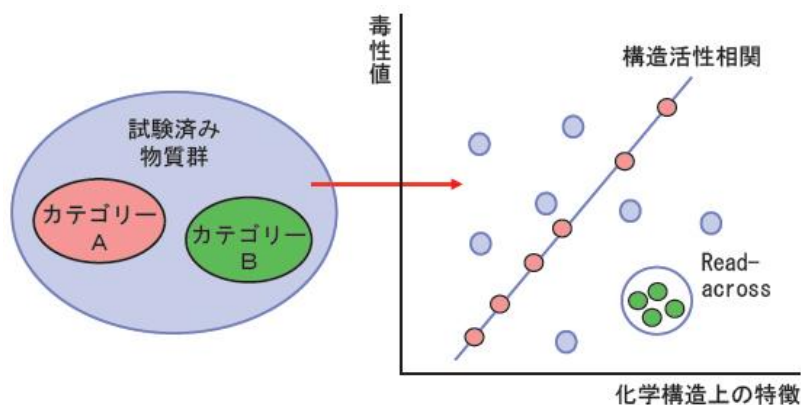
<sup>1</sup> <https://www.nite.go.jp/chem/qsar/hess.html>

<sup>2</sup> <https://ai-ships.net/project.html>

## アンケート実施要領

## 1. 調査の目的

本調査は、海外における化学物質管理法規制（主に欧州 REACH 規則、米国有害物質規制法 (TSCA)、カナダ環境保護法 (CEPA)）への申請・登録時や企業内における毒性スクリーニング等における人健康影響（急性毒性、感作性、反復投与毒性等）の動物実験代替試験法として、構造活性相関 (QSAR) やリードアクロス（以下「QSAR 等」という。）の活用状況を把握することを目的としています。

QSAR 等のイメージ<sup>3</sup>

## 2. アンケートの実施方法

### ＜アンケート調査票のダウンロード方法＞

以下のページから調査票（Microsoft Excel 形式）をダウンロードください

<https://www.mizuho-ir.co.jp/topics/2019/qsar.html>

（みずほ情報総研株式会社のアンケートサイトに移動します）

— ご記入にあたって —

- ◆ 本アンケートでご回答頂いた内容については、本アンケート以外の目的には一切使用せず、統計的に処理をし、貴社名や個別の回答結果が公となることはございません。
- ◆ 主に海外の化学物質管理法規制の申請・登録の担当者や QSAR 等を用いた毒性予測に携わっている担当者がご記入ください。
- ◆ 所要時間は約 20 分です。

ご回答頂いた調査票は、電子メールにてアンケート調査事務局へご返送ください。

<期限> 2月28日（木）

<宛先> [qsar2019@mizuho-ir.co.jp](mailto:qsar2019@mizuho-ir.co.jp)

<件名> 【回答】 QSAR 等の活用実態に関するアンケート

<sup>3</sup> <https://www.nite.go.jp/chem/shiryo/cmcletter/15th/htm/01.html>